

令和5年度 思春期ひきこもりフォーラムの報告

令和5年10月1日(日)14:00~16:00 に福岡市子ども総合相談センターで「不登校・ひきこもりという名の迷宮～枠にとらわれず、独自のリズムで歩もう～社会は最高難度のゲーム」というタイトルで、思春期ひきこもり支援フォーラムを実施いたしました。

例年はひきこもり当事者の方を中心とした講義形式で経験を語っていただく形でしたが、今年は、「いつものピースフル（居場所活動）の雰囲気を作りたい」という当事者の思いもあり、質問に対してぎっくばらんに話していく、座談会形式となりました。

当日の参加者は60人ほどで、うち半数以上がひきこもりの方の保護者や親族の方でした。大勢の方に参加いただきましたが、皆様のご協力のもと、あたたかく、深みのある話が展開されていきました。

和やかな雰囲気の中でも、会場に来られた多くの方が、頷きながら真剣なまなざしで聞かれていらっしゃるのが印象的でした。

フォーラムの前半は、ひきこもっていた当時のことや不登校のきっかけ、発達障がい、ゲームやネットの話など、幅広く話が展開されました。

後半は、「周囲にしてほしいことは?」「ひきこもっていた時の気持ちは?」など会場のアンケートに書かれた質問を中心に当事者が答える形になりました。

「(当時の自分に) もっと喝を入れてほしかったと思う」

「同じ関わりでも、自分が前向きな時はプラスに働くけど、そうじゃないときは余裕がなくなってしまう」など、当事者の中でも様々な思いがありました。

また、ひきこもっていた当時を思い返して、ゲームやネットに没頭することで

「(気持ちを) 辛くなくしてくれていた」「そう思うと支えだったのかも」と振り返る話もありました。参加者の方々も、当事者ならではの感想や語りを聞き、新たな気づきが多くあったようでした。今年度のフォーラムも、アンケートに質問や感想を多くいただき、盛況の中終了いたしました。

今後、質問への回答を皆様にお伝えできるよう、回答の仕方や方法について検討しているところです。

報告：子ども総合相談センター



不登校・ひきこもりという名の迷宮
枠にとらわれず、独自のリズムで歩もう

社会福祉施設フォーラム

福岡市子ども総合相談センター
令和5年10月1日(日)14:00-16:00

主催：福岡市子ども総合相談センター(後援：福岡市教育委員会、福岡市子ども発達支援センター、福岡市子ども発達支援センター、福岡市子ども発達支援センター)

共催：福岡市子ども総合相談センター、福岡市子ども発達支援センター、福岡市子ども発達支援センター

お問い合わせ：福岡市子ども総合相談センター

〒815-8501 福岡市中央区天神1-1-1
TEL: 092-231-1111 FAX: 092-231-1112
E-mail: kcs@city.fukuoka.jp

